

Products Review



Excelで帳票をデザインできる 帳票アプリケーション作成コンポーネント VB-Report 5.0 for .NET

田辺 恒雄 TANABE, Tsuneo

Excelを利用した帳票ツール

ユーザーの帳票に対するニーズは多種多様です。帳票ツールの選択が難しい点は、自由度の高さと設計のしやすさを兼ね備えたものがないことにあります。帳票ツールにはそれぞれに個性があり、オールマイティにさまざまな帳票に対応できるものがなかなかみつかりません。

システム開発において、クライアントから市販の汎用アプリケーションの機能を引き合いに出されて苦慮することがあります。いわく「〇〇にあるこの機能を実装してほしい」と。しかし、そのような要求をいちいち聞いては、とても開発コストに見合いませんし、納期にも間に合いません。ユーザーサイドによる帳票の自由設計などという機能は、そのひとつではないでし

ようか。

サードパーティーの帳票ツールは、帳票設計について独自のインターフェイスを持つデザイナを提供しているものがほとんどです。しかし、開発者が使うことを前提にした帳票デザイナは、製品ごとにそれぞれ癖があります。一般向けの汎用アプリケーションに比べて機能は限定されており、お世辞にも使いやすいとはいえません。

その点、表計算ソフトのExcelは、帳票ツールとして考えた場合、最有力の候補となるのではないのでしょうか。Excelは、汎用的なビジネスソフトとして長年の実績があり、一般にたくさん使われています。どこの組織にもExcelを使える人がいるでしょう。一昔前に比べれば、表現力も進歩し、価格も安くなっています。表計算ソフトですので、当然高度な計算機能もついています。

「VB-Report 5.0 for .NET」(以下VB-Report)は、この点に着目した帳票ツールです。VB-Reportは、帳票設計のためのデザイナを持ちません。ベースとなる帳票デザインはExcelで行ない、テンプレートとして作成したExcelファイルに対して、帳票編集および印刷処

Software Information

OS	Windows 2000/XP Windows Server 2003
開発環境	Visual Studio .NET 2002/2003 [注1] Visual Studio 2005
対応言語	Visual Basic C#
帳票デザイン	Excel 97/2000/2002/2003
価格	71,400円 (1クライアント開発ライセンス)

問合せ先

アドバンスソフトウェア株式会社

TEL : 0776-21-9008
FAX : 0776-21-9022
URL : <http://www.adv.co.jp/>
MAIL : vb-report@adv.co.jp

注1) .NET Framework 1.0はSP3以上、.NET Framework 1.1はSP1以上が必要。

理に必要な制御機能を提供します。

VB-Reportには、データベースとの連携や、1枚の帳票を複数のセクションに分ける機能はありません。帳票は雛形となるシートのセルにデータを差し込むだけ、レイアウトはExcelで自由にどうぞ、という機能的にはいたってシンプルで割り切った設計となっています。

しかし、Excelを帳票ツールとして使うというのは伝統的な手法であり、いまさら目新しいものではありません。Visual Basic 2005でも、実行環境にExcelがあれば、リスト1のようなコードでExcelファイルを利用した帳票印刷が簡単に実現できます。では、VB-Reportはどのような機能を提供してくれるのでしょうか。

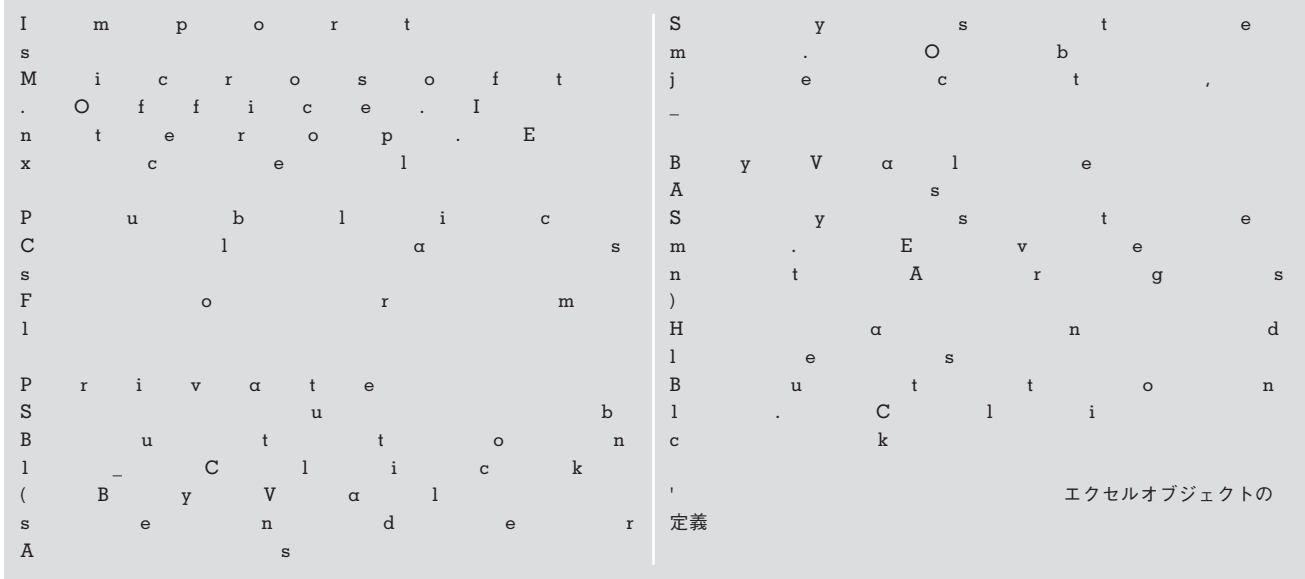
言語 >>> Language

- Visual Basic

ツール >>> Tool

- Visual Studio 2005 Professional
- Excel 2003
- Access 2003

リスト1：Visual Basic 2005からOLEでExcelを操作する



VB-Reportが提供する機能

Visual BasicからOLEで直接Excelオブジェクトを操作する場合に比べて、VB-Reportでは次の機能を開発者に提供します。

■Excel互換機能

VB-Reportは、単純にExcelオブジェクトをラッピングしているのではなく、Excelファイルの生成、編集そして印刷などのExcel互換機能を独自に有するコンポーネントです。ですので、実行環境にExcelがインストールされていなくても基本的には機能します。ただし、完全互換というわけではなく、機能的に限定されています。

VB-Reportが対応するExcelの機能には、

- VB-Report単体でサポートするもの
- VB-Reportのみではサポートされないもの
- プレビュー画面では表示できないが、出力帳票には反映するもの
- VB-Reportでサポートされないもの

があります。誌面の都合上、これらのすべてを紹介することはできません。詳しくは、アドバンスソフトウェア株式会社のWebサイトに対応表がありますので、そちらを参照してください。

http://www.adv.co.jp/products/product_VB-Report5_Excel.htm

簡単に言うと、Excelの機能で言うところのオブジェクトの挿入の部分は、オートシェイプの一部を除いて編集できません。また、グラフやワードアート、組織図などは、帳票出力には反映されませんが、画面上のプレビューには表示されません。

なお、描画機能については、Canvasクラスを持ち、ビットマップおよびメタイメージや直線、矢印、四角形、楕円、テキストボックス、縦書きテキストボックスの描画、領域の塗りつぶし機能（ソリッド、パターン、テクスチャ、グラデーション）を有しています。

■プレビュー機能

Visual BasicからExcelを利用する場合、印刷イメージを表示するプレビュー

機能はどう実現するかが問題となります。単純にExcelの印刷プレビュー機能を利用しようとすると、エンドユーザーの目にExcelのウィンドウを直接さらすこととなります。

他のアプリケーションを利用するシステムを開発する場合、システム想定外の操作を防ぐためにも、利用するアプリケーションのインターフェイスをユーザーから隠したいものです。

VB-Reportは、帳票イメージを表示する独自のプレビュー機能を用意しています。

プレビューするには、以下の2種類の方法があります。

- 独自のプレビューウィンドウを表示する
- Windowsフォームに貼り付けるプレビューコントロールに表示する

プレビューウィンドウは、モーダルダイアログで表示され、インターフェイスがカスタマイズできるようになっています（図1）。

また、編集から出力までに若干のタ